業　務　仕　様　書

１　業務名称　日野川工業用水道管理計装設備点検委託

２　業務場所　米子市八幡ほか

３　業務期間　令和９年３月２６日限り

４　委託目的　　本業務は日野川工業用水道の安定かつ良好な状態を維持するため、運転監視に関する機器の点検及び調整を実施するものである。

５　業務内容　本業務の設備点検は以下の通りとする。

管理計装設備　対象機器・点検整備内容は〈別紙１〉に示す。

６　提出書類

（１）業務責任者選任通知書　　…２部
（２）業務工程表　　…２部
（３）業務計画書　　…２部
（４）点検報告書　　…２部
（作業年月日、機器名、作業者名、点検総括、点検結果及び処置、取替部品、業務記録写真、その他必要な項目）

７　一般事項

（１）安全管理

受注者は安全衛生に関する責任者を定め、労働安全衛生に関する法令を遵守するとともに、必要な表示・保安設備を完備し、履行期間中における危険・災害等の発生防止に努めるものとする。

また、万一事故が発生した場合は速やかに発注者に報告するとともに、受注者の責任において処理するものとする。

（２）共通仕様

本仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築保全業務共通仕様書(令和5年版)の一般事項に準拠すること。

（３）作業の中断

業務を一時中断し業務場所を離れる場合は、各機器を正常な稼働状態に復旧して離れるものとする。

（４）機器の停止

業務の履行に当たり、対象機器以外の機器を停止する必要がある場合には、あらかじめ施設管理担当者の了解を得るものとし、施設管理担当者立会のもと当該機器を停止するものとする。

（５）補修

業務の履行中に誤って施設に損傷を与えた場合は、受注者の負担において速やかに補修するものとする。

（６）廃棄物の処理

本業務で発生した撤去品は、関係法令に基づき、受注者の責任において処理すること。

（７）時間的制約

需要家等の状況により、業務の履行に時間的制約を設ける場合もあるため、その際には施設管理担当者の指示に従うものとする。

（８）異常の発見、報告

業務の履行中に発見した故障箇所及び要修理箇所は、故障の程度、修理に要する部品費用及び期間等を調査のうえ施設管理担当者に報告するものとする。

（９）調査等

発注者は、必要があると認めるときは、受注者に対して委託業務の処理状況について調査し、又は報告を求めることが出来る。この場合において、受注者は、これに従わなければならない。

（１０）完了報告及び検査

受注者は、業務を完了したときは業務完了報告書を発注者に提出し、発注者の検査を受けるものとする。

（１１）疑義

本仕様書の内容その他に疑義が生じた場合は必要に応じて、施設管理担当者と協議して定める。

（１２）その他

業務の履行に当たっては、日時及び方法を施設管理担当者と十分協議し、施設の運営に支障が生じないように努めるものとする。

<別紙1>

対　象　機　器　一　覧　表

計装機器　（八幡浄水場設備）

機器名称		台数	形式	設置場所　＜盤 名＞
NO.1配水池水位	投込式水位計	1	東芝　388130LADA2	浄水場配水池　－
NO.2配水池水位	投込式水位計	1	東芝　AP3193JCQAG2AP	浄水場配水池　－
着水井流量	投込圧力式流量計	1	川鉄　SL-130B	浄水場着水井　－
配水流量	超音波流量計	1	愛知時計　AT868	浄水場流量計ﾋﾟｯﾄ内　－

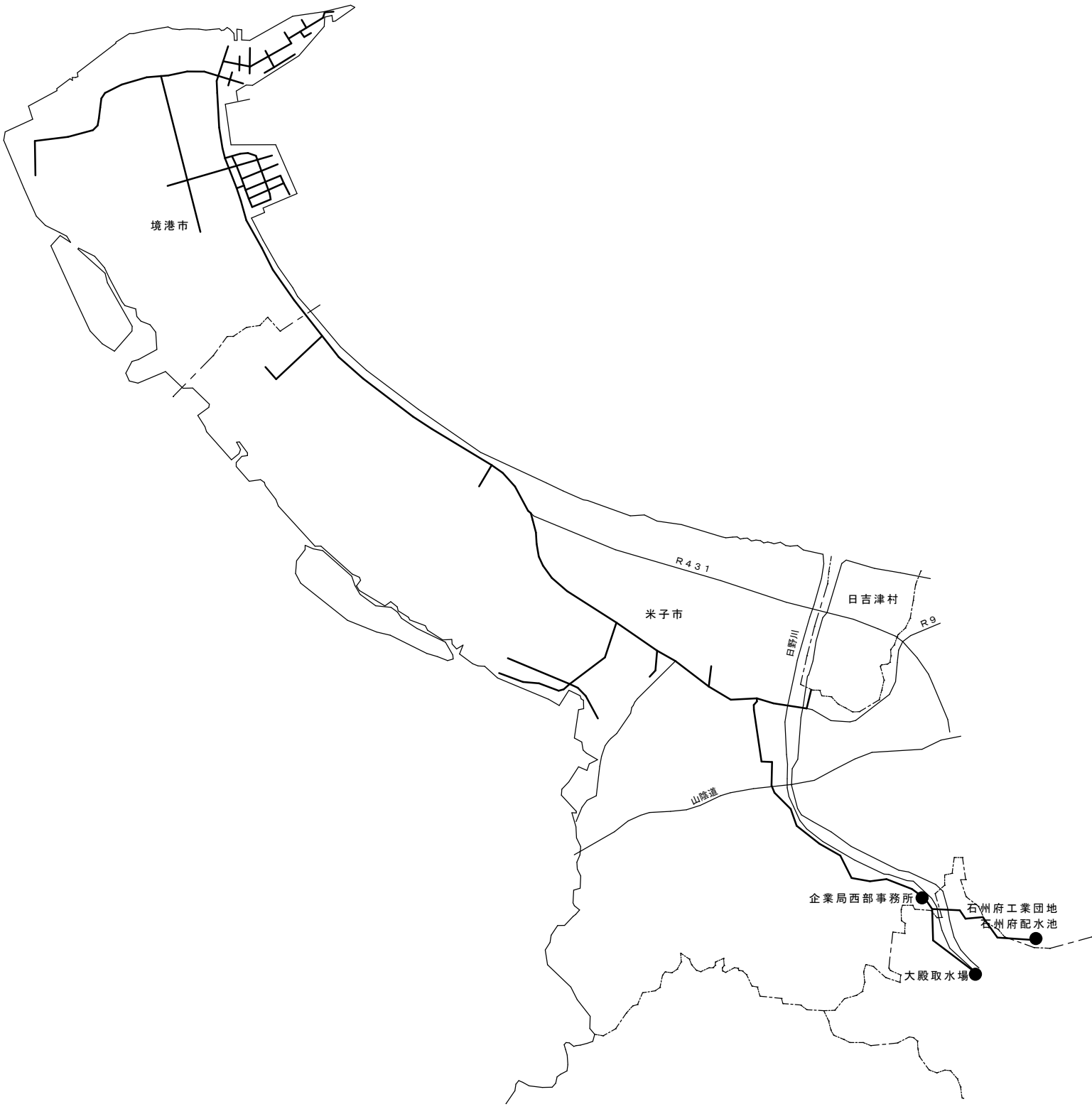
計装機器　（石州府送水設備）

機器名称		台数	形式	設置場所　＜盤 名＞
ポンプ井水位	液位伝送器	1	東芝　AP108LAANAAH	浄水場送水ﾎﾟﾝﾌﾟ棟ﾎﾟﾝﾌﾟ室　－
石州府配水池水位	差圧発信器	1	アズビル　JTC940A	石州府配水池ピット室　－

点　検　整　備　項　目　表

機器名称	点検内容
投込式水位計	・　各部の清掃及び目視点検 ・　受圧部のフィルター清掃 ・　検出器の絶縁測定 ・　模擬圧力入力による（ＺＥＲＯ・ＳＰＡＮ）調整 ・　模擬圧力入力による入出力特性試験 ・　実水位との照合試験 ・　端子台のネジ増し締め確認
投込圧力式流量計	・　各部の清掃及び目視点検 ・　端子台のネジ増し締め確認 ・　実水位における入出力特性試験
液位伝送器 差圧発信器	・　各部の清掃及び目視点検 ・　各バルブの開閉動作、配管詰まり確認 ・　模擬圧力入力による（ＺＥＲＯ・ＳＰＡＮ）調整 ・　模擬圧力入力による入出力特性試験 ・　実水位との照合試験 ・　端子台のネジ増し締め確認
超音波流量計	・　各部の清掃及び目視点検 ・　電源電圧の確認 ・　送信部及び受信部波形確認 ・　ジャンパー設定確認 ・　模擬入力による（ＺＥＲＯ・ＳＰＡＮ）調整 ・　模擬入力による入出力特性試験

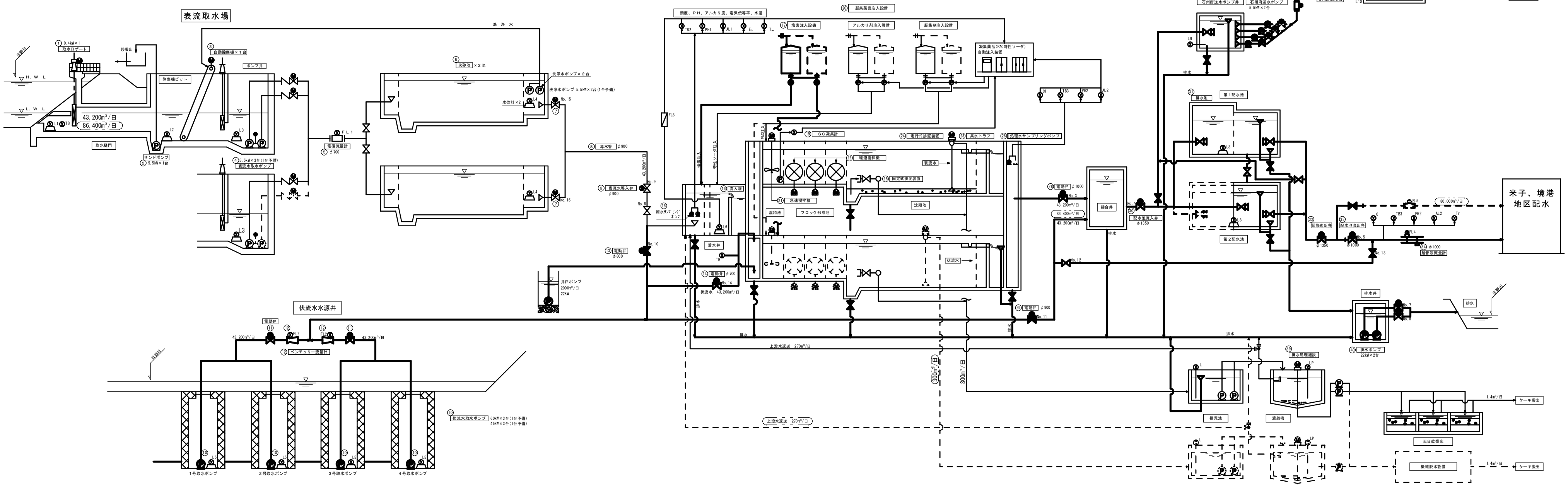
位置図



日野川工業用水道全体システム図

取水～浄水～配水の基本システム

① 伏流水取水→無処理系の混和池へ流入＋次亜塩素注入→フロック形成池（無機械）→沈殿池→流出渠→接合井→配水池→配水
② 需要水量多の為、配水池水位が低下した場合は、③以降。伏流水で水量が満足する場合は、配水池水位上限にて伏流水の取水停止。
③ 大殿取水ポンプ運転→沈砂池（濁度を測定して中央で表示、警報）→導水管→着水井へ流入（水量、水質の把握・・・次亜塩素注入及び水質の適否により、薬品処理の運転又は停止）→混和池（凝集薬品注入、急速撹拌混合）→フロック形成池（緩速撹拌によりフロック形成）→沈殿池（濁質を凝集したフロックを沈殿除去）→取出し設備（上澄水の取り出し）→流出渠（水質のチェック・・・・薬品の最適注入量をコントロール及び警報）→接合井→配水池→配水→（需要量＜浄水量により配水池水位上昇で取水ポンプ停止）
④ 石州府系・・・配水池→送水ポンプ井→送水ポンプ→送水管→石州府配水池→石州府系配水（石州府配水池水位上限で送水ポンプ停止、水位低下により、送水ポンプ運転。さらに低下で運転台数増）



① **取水口ゲート**
設備・・・・・・・・ ２．０×１．５×1門(86,400m³/日)
運転状況・・・・ 現場又は遠方よりスイッチにて開閉
計装設備・・・・ 河川水位計・・・・・・河川水位を中央で表示

② **サンドポンプ**
設備・・・・・・・・ ３０m³/H×1台（8,640m³/日）
ピット内の堆砂状況により手動又はタイマーにてON,OFF

③ **自動除塵機**
設備・・・・・・・・ ２．０×８．０×1台(86,400m³/日)
運転状況・・・・ 自動除塵機前後の水位差又はタイマーにて自動運転

④ **表流水取水ポンプ**
設備・・・・・・・・ ３台（1台予備）（43,200m³/日）
運転状況・・・・ ３台の内サイクリックにて２台運転
１台目の回転数が１００%となった時点で
２台目が起動して回転数制御を行う
運転条件・・・・ 八幡配水池水位にてＯＮ，ＯＦＦ
（回転数制御＋台数制御）
（ポンプ井水位下限、沈砂池水位上限でＯＦＦ）

⑤ **電磁流量計**
設備・・・・・・・・ φ７００×1台(86,400m³/日)
取水流量の指示、記録、積算

⑥ **沈砂池**
設備・・・・・・・・ ８６，４００m³/日（４３，２００m³/日）
計装設備・・・・ 水位計（投込式）×2台
上限水位で取水ポンプ停止、下限水位で流出→電動弁閉
濁度計（浸漬式）×2台・・・・・・中央へ→異常値で警報
洗浄水ポンプ・・・・１８m³/H×2台（1台予備）
運転状況・・・・ １台自動交互運転
運転条件・・・・ 自動除塵機に連動
又は水栓開放で起動

⑦ **電動弁**
設備・・・・・・・・ φ８００×2台(86,400m³/日)
運転状況・・・・ 常時開、沈砂池水位、ＬＬＷＬで閉

⑧ **導水管**
表流水を浄水場へ導水
φ９００×１５００m(86,400m³/日)

⑨ **表流水流入弁**
設備・・・・・・・・ φ９００×1台(86,400m³/日)
運転状況・・・・ 配水池水位低下＋表流水取水ポンプＯＮで開
配水池水位上昇＋表流水取水ポンプＯＦＦで閉

⑩ **伏流水取水ポンプ**
設備・・・・・・・・ ６台（２台予備）(86,400m³/日)
運転状況・・・・ サイクリックにて４台運転
運転条件・・・・ 配水池水位にてＯＮ，ＯＦＦ

⑪ **電動弁**
設備・・・・・・・・ ２台予備(86,400m³/日)
運転状況・・・・ 伏流水取水ポンプにて連動して開閉

⑫ **ベンチュリー流量計**
設備・・・・・・・・ φ８００×2台(86,400m³/日)
取水流量の指示、記録、積算

⑬ **電動弁**
設備・・・・・・・・ φ８００×１台
伏流水切替用
通常閉、伏流水高濁度時開で薬品沈殿処理

⑭ **電動弁**
設備・・・・・・・・ φ７００×１台
伏流水切替用
常時閉、伏流水高濁度時開

⑮ **原水サンプリングポンプ**
原水の濁度、水温、ＰＨ、アルカリ度、電気伝導率を測定
薬品注入量演算のデータを薬品注入装置に伝送

⑯ **流入堰＋水位計**
着水井水位計にて越流水深さを測定
表流水の流入量を測定

⑰ **塩素注入設備**
設備・・・・・・・・ ４３，２００m³/日
運転状況・・・・ 着水井流入量にて比例注入

⑱ **塩素注入設備**
設備・・・・・・・・ ８６，４００m³/日
運転状況・・・・ 伏流水ポンプにて連動注入

⑲ **ＳＣ凝集計**
設備・・・・・・・・ ８６，４００m³/日
コロイド粒子の電荷量（流動電流値）
薬品注入量演算のデータを薬品注入装置に伝送

⑳ **凝集薬品注入設備**
設備・・・・・・・・ ４３，２００m³/日（計装８６，４００m³/日）
流量、濁度、水温、ＰＨ、アルカリ度、電気伝導率、流動電流を基に苛性ソーダとＰＡＣの注入量を設定し、注入する
運転状況・・・・ 原水濁度１０度以上でＯＮ、未満でＯＦＦ

㉑ **急速撹拌機**
設備・・・・・・・・ １台（４３，２００m³/日）
注入したＰＡＣを急速に攪拌混合する
運転状況・・・・ 凝集薬品注入設備と連動

㉒ **緩速撹拌機**
設備・・・・・・・・ ２台×３列 計６台（４３，２００m³/日）
ゆっくりと攪拌混合しながら水中の微粒子を凝集する
運転状況・・・・ 凝集薬品注入設備と連動

㉓ **集水トラフ**
設備・・・・・・・・ ３．５m×２０本（４３，２００m³/日）
沈殿池の取り出し設備で沈殿した濁質のキャリーオーバーを防止する

㉔ **走行式排泥装置**
設備・・・・・・・・ 気圧式集排泥装置 １台（４３，２００m³/日）
沈殿池の底部に堆積した汚泥を集排泥して排泥池に送る
運転状況・・・・ タイマー設定による自動運転
排泥池水位上限にて停止

㉕ **固定式排泥装置**
設備・・・・・・・・ 気圧式集排泥装置 １台（４３，２００m³/日）
沈殿池の底部に堆積した汚泥を集排泥して排泥池に送る
運転状況・・・・ タイマー設定による自動運転
排泥池水位上限にて停止

㉖ **処理水サンプリングポンプ**
処理水の濁度、ＰＨ、アルカリ度、残留塩素を測定し、塩素注入量及び凝集薬品注入量のフィードバック制御を行う。

㉘ **電動弁**
φ１０００
常時開、沈殿池を用いないで伏流水を直接、接合井～配水池に流入するとき閉とする。
運転状況・・・・ スイッチにより開、閉

㉙ **電動弁**
φ９００
伏流水を沈殿池を経由しないで直接、接合井～配水池へ流入する時開とする。
運転状況・・・・ スイッチにより開、閉

㉚ **配水池流入弁**
φ１３５０×１台（１７２，８００m³/日）
常時開、配水池を経由しないで直接接合井から、または伏流水を直接配水する場合、閉とする。
運転状況・・・・ スイッチにより開、閉

㉛ **配水池**
配水能力・・・・ １２０，０００m³/日
第１配水池・・ V=7,780m³(内4,170m³ 1期)
第２配水池・・ V=3,060m³
（計 V=10,840m³）
計装設備・・・・ 水位計（投込式）×2台
本水位計により取水ポンプの運転、停止、回転数制御（表流水）を行う。
濁度計（浸漬式×２台）
配水濁度測定→中央へ、異常値で警報

㉜ **緊急遮断弁**
φ１３５０(配水能力＝１６０，０００m³/日)
常時開。地震等による管の破断で、配水池内の流出を防ぐ
動作・・・・・・・・ 配水流量計による過大流量及び、地震計にて一定震度を感知し、
ウェイトにて弁を急閉する。
復帰は電動（バッテリー）

㉝ **配水池流出弁**
φ１０００（８０，０００m³/日）
常時閉、配水池を経由しないで接合井から、又は伏流水を直接配水する場合、開とする。
さらに、３期配水管布設後、水運用制御を行う。
運転状況・・・・ スイッチにより開、閉

㉞ **超音波流量計**
φ１０００（８０，０００m³/日）
配水流量の指示、記録、積算

㉟ **石州府送水ポンプ井**
送水能力・・・・ １１，０００m³/日
Ｖ＝３２０m³×１井
計装設備・・・・ 水位計（投込式）×１台
中央で水位表示、下限で送水ポンプ停止

㊱ **石州府送水ポンプ**
設備・・・・・・・・ ８，４００m³/日
運転状況・・・・ ２台をサイクリックに運転（台数制御）
運転条件・・・・ 石州府配水池水位にてＯＮ、ＯＦＦ
（ポンプ井水位下限、石州府配水池水位上限でＯＦＦ）

㊲ **石州府送水管**
φ４５０×３，１４１m（１１，０００m³/日）

㊳ **石州府配水池**
配水能力・・・・ １１，０００m³/日
Ｖ＝１，０００m³
計装設備・・・・ 水位計（投込式）×１池
中央で水位表示、警報、送水ポンプの運転停止
濁度計
中央で濁度表示、警報
配水流量計（電磁流量計）
配水流量の指示、記録、積算

㊴ **配水処理施設**
能力・・・・・・・・ 43,200m³/日(処理水量≒300m³/日)
設備・・・・・・・・ 排泥池 V=32m³×２池
汚泥ポンプ Q=0.21m³×２台（１台予備）
濃縮槽 V=340m³×１池
汚泥打込ポンプ Q=0.21m³×2台(1台予備)
天日乾燥床 A=324m²（１池当り）
18.0×18.0m×H2.15m×3池
処理システム
気圧式排泥装置で引抜いた沈殿池汚泥を排泥池に送る。ここで処理量を一定に調整し、汚泥ポンプで濃縮槽に送泥する。濃縮槽の汚泥は重力で自然沈降し、上澄水は自然流下で着水井に返送して再度浄水処理を行う。池の底に掻き寄せた濃縮汚泥は汚泥打込みポンプで引抜き、天日乾燥床に送る。天日で乾燥したケーキはトラックで搬出する。
運転状況
気圧式排泥装置・・・・・・タイマーでＯＮ，ＯＦＦ 排泥池水位上限でＯＦＦ
汚泥ポンプ・・・・・・・・・・排泥池水位計でＯＮ、ＯＦＦ
濃縮槽（掻寄せ機、打込みポンプ）
界面計水位上限で運転→タイマーでＯＦＦ
界面計水位下限でＯＦＦ

㊵ **排水ポンプ**
設備・・・・・・ 22kW×2台（540m³／H １台）
浄水場内の排水を集め、日野川へ排水する。
運転状況・・・・ 電極スイッチにより２台をサイクリックに運転

監視場所	大殿取水場	八幡浄水場	石州配水池
ＣＲＴ	河川水位 取水口ゲート 開・閉・故障表示・開度表示 自動除塵機 開・閉・停止・故障表示 サンドポンプ 運転・停止・故障表示 除塵機 運転・停止・故障表示 除塵ピット水位及び警報 Ｎｏ．１，２ ポンプ井水位 Ｎｏ．１～４ 取水ポンプ 運転・停止・故障表示・電流 Ｎｏ．１～４ 取水ポンプ吐出弁 開・閉・故障表示 ポンプ井横引ゲート 開・閉・故障表示 取水流量 Ｎｏ．１，２ 洗浄ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 沈砂池水位及び警報 Ｎｏ．１，２ 沈砂池 濁度及び警報 自家発電装置 運転・停止・故障表示 テレメータ故障 １５号電動弁 開・閉・故障表示 １６号電動弁 開・閉・故障表示	１号～４号 取水ポンプ運転・停止・故障警報 1号～7号,11号 電動弁 開・閉 9号,10号,14号 電動弁 開・閉・開度・故障表示 緊急遮断弁 開・閉・開度・故障表示 原水温度及び警報 原水濁度及び警報 原水ＰＨ及び警報 原水アルカリ度及び警報 原水電気伝導率及び警報 伏流水濁度及び警報 処理水濁度及び警報 処理水ＰＨ及び警報 処理水アルカリ度及び警報 ＳＣ値 ＳＣコントロール表示 濁度比例コントロール表示 ＳＣ計故障表示 急速攪拌機 運転・停止・故障表示 １列目 Ｎｏ．１，２ 緩速攪拌機 運転・停止・故障表示 ２列目 Ｎｏ．１，２ 緩速攪拌機 運転・停止・故障表示 ３列目 Ｎｏ．１，２ 緩速攪拌機 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 固定排泥用ブロワ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１～４ 排泥弁 開・閉・故障表示 Ｎｏ．１～４ 圧力水吐出弁 故障表示 Ｎｏ．１～３ 走行モータ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 走行排泥用ブロワ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 排泥促進ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 洗浄水ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 原水サンプリングポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 凝集サンプリングポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 処理水サンプリングポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 送泥ポンプ 運転・停止・故障表示 汚泥掻寄機 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 汚泥打込みポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ エキセントリック弁 故障表示 Ｎｏ．１，２ 凝集剤注入ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ アルカリ剤注入ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 塩素注入ポンプ 運転・停止・故障表示 伏流水塩素注入ポンプ 運転・停止・故障表示 凝集剤アルカリ剤排液ポンプ 運転・停止・故障表示 塩素排液ポンプ 運転・停止・故障表示 給水ポンプユニット 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 凝集剤自動出口弁 故障表示 凝集剤自動流出弁 故障表示 Ｎｏ．１，２ アルカリ剤自動出口弁 故障表示 アルカリ剤自動流出弁 故障表示 Ｎｏ．１，２ 塩素剤自動出口弁 故障表示 塩素剤自動流出弁 故障表示 Ｎｏ．１，２ 凝集剤 注入不良表示 Ｎｏ．１，２ アルカリ剤 注入不良表示 Ｎｏ．１，２ 塩素剤 注入不良表示 取水流量及び警報 第１配水池水位及び警報 第２配水池水位及び警報 配水流量 １系配水流量 ２系配水流量 Ｎｏ．１～４ 送水ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１～４ 送水ポンプ吐出弁 開・閉・故障表示 Ｎｏ．１，２ 送水床排水ポンプ 運転・停止・故障表示 送水床排水ピット 水位警報 送水アルカリ度及び警報 Ｎｏ．１，２ 排水ポンプ 運転・停止・故障表示	テレメータ 故障表示 配水濁度及び警報 配水流量 配水池 水位及び警報
ミニ グラフィック	取水口ゲート 運転・故障表示 Ｎｏ．１～４ 取水ポンプ 運転・故障表示 Ｎｏ．１～４ 取水ポンプ吐出弁 運転・故障表示 取水流量 Ｎｏ．１，２ 洗浄ポンプ 運転・故障表示 沈砂池 水位及び警報 沈砂池 濁度警報 １５号電動弁 開・閉・故障表示 １６号電動弁 開・閉・故障表示	１号～４号 取水ポンプ運転・停止・故障警報 1号～7号,11号 電動弁 開・閉 9号,10号,14号 電動弁 開・閉・開度・故障表示 緊急遮断弁 開・閉・開度・故障表示 原水温度及び警報 原水濁度及び警報 原水ＰＨ及び警報 原水アルカリ度及び警報 原水電気伝導率及び警報 伏流水濁度及び警報 処理水濁度及び警報 処理水ＰＨ及び警報 処理水アルカリ度及び警報 ＳＣ値 ＳＣコントロール表示 濁度比例コントロール表示 ＳＣ計故障表示 急速攪拌機 運転・停止・故障表示 １列目 Ｎｏ．１，２ 緩速攪拌機 運転・停止・故障表示 ２列目 Ｎｏ．１，２ 緩速攪拌機 運転・停止・故障表示 ３列目 Ｎｏ．１，２ 緩速攪拌機 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 固定排泥用ブロワ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１～４ 排泥弁 開・閉・故障表示 Ｎｏ．１～４ 圧力水吐出弁 故障表示 Ｎｏ．１～３ 走行モータ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 走行排泥用ブロワ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 排泥促進ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 洗浄水ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 原水サンプリングポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 凝集サンプリングポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 処理水サンプリングポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 送泥ポンプ 運転・停止・故障表示 汚泥掻寄機 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 汚泥打込みポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ エキセントリック弁 故障表示 Ｎｏ．１，２ 凝集剤注入ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ アルカリ剤注入ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 塩素注入ポンプ 運転・停止・故障表示 伏流水塩素注入ポンプ 運転・停止・故障表示 凝集剤アルカリ剤排液ポンプ 運転・停止・故障表示 塩素排液ポンプ 運転・停止・故障表示 給水ポンプユニット 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１，２ 凝集剤自動出口弁 故障表示 凝集剤自動流出弁 故障表示 Ｎｏ．１，２ アルカリ剤自動出口弁 故障表示 アルカリ剤自動流出弁 故障表示 Ｎｏ．１，２ 塩素剤自動出口弁 故障表示 塩素剤自動流出弁 故障表示 Ｎｏ．１，２ 凝集剤 注入不良表示 Ｎｏ．１，２ アルカリ剤 注入不良表示 Ｎｏ．１，２ 塩素剤 注入不良表示 取水流量及び警報 第１配水池水位及び警報 第２配水池水位及び警報 配水流量 １系配水流量 ２系配水流量 Ｎｏ．１～４ 送水ポンプ 運転・停止・故障表示 Ｎｏ．１～４ 送水ポンプ吐出弁 開・閉・故障表示 Ｎｏ．１，２ 送水床排水ポンプ 運転・停止・故障表示 送水床排水ピット 水位警報 送水アルカリ度及び警報 Ｎｏ．１，２ 排水ポンプ 運転・停止・故障表示	テレメータ 故障表示 配水濁度及び警報 配水流量 配水池 水位及び警報

凡 例

将来	電磁式流量計
投込式（圧力式）水位計	ポンプ
静電容量式水位計	ベンチュリー式流量計
濁度計	超音波式流量計
ＰＨ計	電動機
電気伝導率計	界面計
水温計	
アルカリ度計	
残留塩素計	